

転職経験者インタビュー

前職での経験を活かし、様々な活躍をしている転職経験者の松井さんと杉山さん。お二人に仕事の魅力や、やりがいについてお話を聞きました。

行政職

府民文化部
都市魅力創造局
魅力づくり推進課

H30入庁

松井 まどか
Matsui Madoka

技術職(建築)

都市整備部
住宅建築局
居住企画課

H31入庁

杉山 陽祐
Sugiyama Yosuke

松井さんへのインタビューはこちら！



杉山さんへのインタビューはこちら！



配属歴

H30.4 商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課
R2.4 大阪自動車税事務所 納税課
R4.4 府民文化部 都市魅力創造局 魅力づくり推進課

配属歴

H31.4 住宅まちづくり部 建築指導室 建築安全課
(現 都市整備部 住宅建築局 建築指導室 建築安全課)
R4.4 都市整備部 住宅建築局 居住企画課

Q1 前職について、仕事の内容を教えてください

松井 旅行会社で海外旅行パッケージツアーの商品企画をしていました。

具体的にはツアー行程の検討や旅行代金の値付け、パンフレット紙面のイメージを考えたり、原稿の校正などをしていました。

杉山 建設業界で施工管理業務に従事していました。

Q2 大阪府への転職を志したきっかけや動機を教えてください

松井 前職入社5年目の夏に、大阪から東京に転勤となったことが転職を考えるきっかけとなりました。慣れ親しんだ関西で、関西を元気にする仕事がしたいと思い、転職先を探していたところ、大阪府の採用説明会が東京で開催されることを知って参加し、受験を決意しました。公務員にこだわりはなかったので、不採用となれば民間企業への転職も検討していました。

杉山 私が公務員を志望した理由は、自分たちの利益を追求していくのではなく、そこに住んでいる方や訪れる方々に対して、どうすれば良いまちになっていくのかを考えて仕事をしていくことが魅力的だと思ったからです。その中でも、これまで住んできた場所に対して、建築分野で貢献したいという思いから大阪府を志望しました。

Q3 仕事内容を教えてください

松井 現在所属している魅力推進・ミュー

ジウムグループでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている府内観光事業者の支援を目的とした「国内旅行消費喚起事業」や、まち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を発掘し、磨き・際立たせ、結びつけることにより、大阪のまちの魅力を外に発信する「大阪ミュージアム」の推進などを実施しています。

杉山 初めての配属先である建築安全課では、違反建築物などの指導を行いました。現在の居住企画課においては、住宅建築局の企画担当として、議会に関する業務や、各関係部署との調整などを通じて、住宅や建築に関する様々な事業の推進に携わっています。

Q4 前職の経験やスキルが活かした経験や場面について教えてください

松井 前職でのパンフレット校正の経験が活かしていると感じています。

ものづくり支援課では、「大阪製ブランド」というものづくり中小企業の消費者向け製品を認定する業務において、認定製品のPRパンフレットなどのチェック業務があり、また、大阪自動車税事務所では、マニュアル作成業務に携わる中で全体構成などを考える機会があり、前職の経験を活かしました。

杉山 入庁して初めての職場である建築安全課において、図面を見る機会がありました。前職でも建築関係の仕事をしており、図面を見る機会が多かったため、特に問題無く業務を進めることができ、前職の経験が役に立ったなと思いました。

Q5 入庁前のイメージと違ったことがあれば教えてください

松井 「公務員は決まりきった堅苦しい仕事ばかり」というイメージでしたが、担当業務によっては、ある程度自ら考え提案していくような仕事もあり、それがいい意味でギャップでした。また、部署により仕事内容や仕事の進め方、雰囲気も大きく変わります。異動後は毎回転職したような気分です。慣れるまでが少し大変、という点については想像よりもギャップが大きかったです。

杉山 入庁前は、公務員の建築職がどういう仕事をしているのか詳しく知りませんでした。入庁してから、大阪府職員の間で携わる仕事が多岐にわたっていることが分かりました。

Q6 大阪府への転職を考えている方へメッセージをひとことお願いします

松井 新卒の就職活動時にも公務員試験対策をしたことがなく、知識のなさに不安を感じていましたが、採用試験はいわゆる公務員試験ではありませんし、法的知識についても、業務にあたるなかで勉強していけば問題ありません。私のように民間企業出身の同期もたくさんいますので、大阪府の仕事に少しでも興味がある方は一度チャレンジしていただければと思います。

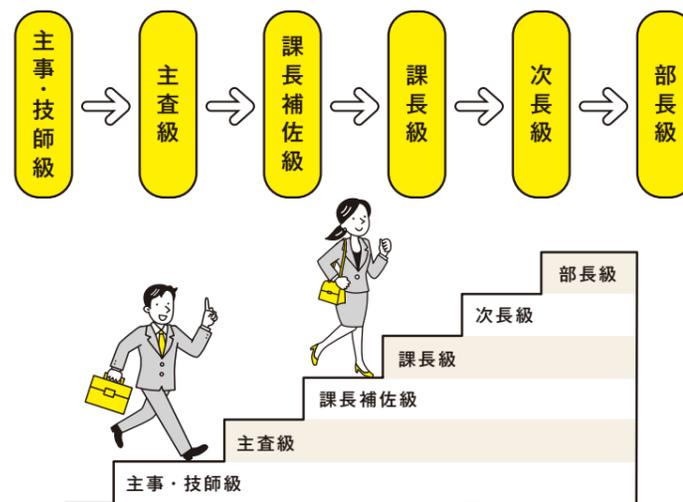
杉山 一つの仕事だけをするのではなく、多岐にわたる業務に携われるのが魅力だと思います。優しい職員が多く、また風通しのよい職場で転職をお考えの方はぜひおすすめです。

※掲載されている職員の職務内容、所属及び所属名称は配属当時のものです。

人事制度

昇任制度 / 勤務条件

昇任制度



行政職の場合

昇任は、左の昇任の流れに沿って、勤務成績等を考慮した能力主義で行われます。入庁後一定期間を経た職員を対象として主査級昇任審査が実施され、合格者は主査級に昇任することができます。
※警察行政職については、独自の昇任制度があります。

技術職の場合

技術職については、昇任審査はありません。将来の職階構成等を考慮しつつ、長期的展望に立った育成型・選抜型の昇任管理を実施しています。

勤務条件

■ 給与 初任給は、経歴その他に応じて一定の基準により決定されます。

試験区分	初任給
行政(高校卒程度)	月額191,700円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が18歳、高校卒業後の場合。地域手当含む。)
警察行政(高校卒程度)	
技術(高校卒程度)	月額227,200円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が22歳、大学卒業後の場合。地域手当含む。)
行政(大学卒程度)	
警察行政(大学卒程度)	月額266,900円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が30歳、大学卒業後民間企業等における職務経験年数が8年の場合。地域手当含む。)
技術(大学卒程度)	
行政(社会人等:26-34)	月額292,400円程度 (令和5年4月1日現在で年齢が42歳、高校卒業後民間企業等における職務経験年数が24年の場合。地域手当含む。)
技術(社会人等)	
行政(社会人等:35-49)	

給料の月額以外に、通勤手当、扶養手当、住居手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当がそれぞれの条件に応じて支給。

職員のモデル給与月額(行政職)

職階	年齢	給与月額	期末勤勉手当額	年収
部長級		745,100	3,773,100	12,714,600
次長級		668,600	3,276,200	11,300,300
課長級	50歳	597,900	2,807,200	9,982,600
課長補佐級	50歳	467,400	2,311,500	7,921,100
主査級	45歳	413,100	1,954,300	6,912,400
主事級	35歳	304,500	1,375,000	5,029,600
主事級	大学初任給	209,400	900,400	3,413,200

※令和4年4月1日現在の職階別・年齢別の実支給額の平均額です。
※左記月額には地域手当が含まれます。
※百円未満を切り捨てています。

大阪府HPにてモデル年収について公開しています

